

クロアチア情勢(2019年12月)

在クロアチア日本国大使館

1. クロノロジー

【内政】

1日	経済学者のコバチ氏(クロアチア社会自由党(HSLS)推薦, プリンストン大学研究員)が, 1万6千人分の署名を国家選挙委員会に提出し, 大統領選挙に立候補。
3日	グラバル＝キタロビッチ大統領が23万1652人分の署名を国家選挙委員会に提出し, 大統領選挙に立候補。映画監督のユリチャン氏が1万3千人分の署名を同委員会に提出し, 大統領選挙に立候補。
	野党社会民主党(SDP)が, ディビヤク科学・教育相に対する不信任動議を提出する旨発表。
5日	国家選挙委員会(DIP)は, 本年12月22日実施予定の第7回大統領選挙における候補者11名を公式発表
	政府は, ブコバルを特別な祖国の尊重の場所(place of special homeland piety)として宣言する法律案を議会手続に送付。
9日	プレンコビッチ首相が議長を務める第10回政府スラボニア・バラニャ・スリエム評議会(注:「スラボニア・バラニャ・スリエム・プロジェクト」の枠組みにおける, 欧州構造・投資基金, EUプログラム, 欧州経済領域及び国内資金の調整を行う諮問機関)がブコバル市で開催され, 同首相は, 「スラボニア・バラニャ・スリエム・プロジェクト」に割り当てられた187億クーナのうち, 11月30日までに113億クーナ分の契約が署名された旨述べた。
10日	グラバル＝キタロビッチ大統領, プレンコビッチ首相, ヤンドロコビッチ議会議長等が, トウジマン初代大統領の20回忌に際し, ミロゴイ墓地を訪問。
12日	ロハティンスキ前中央銀行総裁(2000－2012年)が死去。
13日	クロアチア議会において日EU・SPAの批准が承認された。
16日	マレニツァ行政相及びコリブニツァ県知事は, 2020年1月1日からの国家行政の地方事務所の統廃合に向け, 200の国家行政手続に係る事務の県政府移管に関する合意に署名。
17日	国営テレビにおいて, 大統領選挙の候補者11名による討論会が実施された。
18日	野党SDPのイニシアティブにより31名の野党議員がディビヤク科学・教育相に対する不信任動議を6日に議会に提出していたが, 18日, 政府は同動議を否認する決定を行った(同動議は, 次期(来年1月から始まる)会期で議会における採決にかけられる)。
21日	ザグレブ市のごみ処理費値上げ等を受け, ザグレブ市民等がバンディッチ・ザグレブ市長の辞任を求めて抗議集会を実施, 約2000人が参加。
22日	第7回クロアチア大統領選挙(第一回投票)が実施され, 上位2名となった現職のグ

	ラバル＝キタロビッチ大統領及びミラノビッチ元首相が来年1月の決選投票に進出。
30日	民放RTLにおいて、グラバル＝キタロビッチ大統領及びミラノビッチ元首相のTV討論が行われた。
	ザグレブ県裁判所は、INA-MOL事件（2009年に国営石油会社INAの支配権をハンガリー国有石油会社MOLが取得した際に、サナデル元首相が1000万ユーロを受け取ったとされる事件）に関する再審裁判において、収賄の罪でサナデル元首相に6年の禁固刑を、ヘルナディ元MOL・CEOに2年の禁固刑を言い渡した。

【外交】

1日	クランプ＝カレンバウアー独国防相がトロギール市（当国南部）を訪問し、クルスティチェビッチ副首相兼国防相と会談。両国防相は、2020年6月8日及び9日にスプリット市において、NATO・EU協力に関する防衛大臣会合を共同開催することに同意。
2日	シュイツァ欧州議会議員が欧州委員会委員に選任されたことを受け、スンチャナ・グラバク議員（与党クロアチア民主同盟（HDZ））が欧州議会議員に就任。
3-4日	プレンコビッチ首相は、英国で開催されたNATO首脳会合に出席するとともに、ジョンソン英首相及びマクロン仏大統領と会談。（NATO首脳会合には、クルスティチェビッチ副首相兼国防相、グルリッチ＝ラドマン外務・欧州問題相及びシュンドフ（Sundov）クロアチア軍参謀総長も出席）
5日	サッソーリ欧州議会議長が当国を訪問し、プレンコビッチ首相、グラバル＝キタロビッチ大統領及びヤンドロコビッチ議会議長と会談。
5-6日	ブシッチ外務・欧州問題省副大臣がOSCE外相会合（於：ブラチスラバ）に出席。
9日	グルリッチ＝ラドマン外務・欧州問題相が、EU外務理事会（於：ブリュッセル）に出席。
10日	墺作家ピーター・ハントケ氏のノーベル文学賞授賞式が行われたが、外務・欧州問題省は、同氏がミロシェビッチ元セルビア大統領の「大セルビア主義」を支持したことから、駐スウェーデン・クロアチア大使は同授賞式を欠席する旨の声明を発表。ボスニア・ヘルツェゴビナ、アルバニア、コソボ及びトルコの各大使も同様に授賞式を欠席。
10日	ボシュニャコビッチ法務相とバー米司法長官は、ワシントンにおいて、犯罪人引渡及び司法共助協定に署名。
11日	スロベニアが国境画定問題に関してクロアチアを欧州司法裁判所に提訴している事案につき、欧州司法裁判所のピカマエ法務官が、本事案は欧州司法裁判所の管轄権に属しないとの見解を発表。
	グルリッチ＝ラドマン外務・欧州問題相がトルコを訪問し、チャヴシュオール・トルコ外務大臣と会談。
	ザダル市近くのクロアチア空軍兵舎で、多国籍特殊航空プログラム訓練センター

	(MSAP TC)が開設され、クルスティッチ副首相兼国防相、グランドNATO事務総長補(防衛投資担当)、ブルガリア、スロベニア及びハンガリーの国防相等が開設式に参加。「ク」国防相によれば、同センターは将来的にNATOのcentre of excellence となることが期待されている。
12日	プレンコビッチ首相は、ブリュッセルで行われているEU首脳会合に出席し、同会合のマーギンで、マクロン仏大統領及びミシェル欧州理事会議長と会談。
13日	グルリッチ＝ラドマン外務・欧州問題相が第93回ドナウ委員会出席のためハンガリーを訪問し、シーヤールト＝ハンガリー外相と会談。
	ザダル県は、中国海南省との友好協定に署名。
	プレンコビッチ首相は、ブリュッセルで行われた欧州理事会に出席し、次期EU議長国関連日程等を発表。ユーロ圏サミットに参加するとともに、ヴェステアー欧州委員(競争政策担当)等と会談。
14日	メテルコ＝ズゴンビッチ外務・欧州問題省副大臣がASEM外相会合(於:マドリッド)に出席。
18日	プレンコビッチ首相は伊を訪問し、コンテ伊首相と会談。
	クルスティッチ副首相兼国防相がアフガニスタンのNATOミッションに駐留するクロアチア軍部隊を訪問するため、同国を訪問。
19日	プレンコビッチ首相は、第30回中欧イニシアティブ(CEI)に出席
27日	政府は、2020年前半のクロアチアEU議長国の詳細プログラムを採択。
28日	グルリッチ＝ラドマン外務・欧州問題相がボスニア・ヘルツェゴビナを訪問し、トゥルコビッチ外相等と会談。

【経済】

2日	政府は、初等及び中等教育の教職員によるストライキについて、教職員組合が求める給与係数の引上げを承認。36日間に及ぶストライキは終了。他方、税関職員組合は、税関職員の給与係数が労働省職員よりも20%低い旨を指摘し、給与係数の調整を求め、また、警察職員組合も給与係数の調整を求めた。
5日	政府は、公的部門政府職員に対する基本的労働協約付属書及び教育部門従事者に対する追加的給与に関する協定に署名。
	クロアチア道路公社は、ペリエシャツ橋建設事業に付随するストン環状道路建設事業について、Avax 社(ギリシャ)が工事に着手した旨発表。
6日	政府は、クラピナ・ザゴリエ県におけるインフラ整備を含む38事業(総事業費36.8億クーナ)を承認。内訳は道路事業に23億クーナ、鉄道事業に3.15億クーナ、水道整備事業に9.16億クーナなど。
10日	クロアチア復興開発銀行(HBOR)とコバニツァ銀行、エルステ銀行、クロアチア郵便銀行、ポドラブスカ銀行は、中小企業による輸出向けの運転資金の確保を支援するため、貸出債権補償協定に署名。本スキームは、従業員数250名以下、年間収入5000万クーナ以下の中小輸出企業に対して融資された100万ク

	ーナ以下のローンについて、債務不履行となった場合に、HBORがその元本と利息の8割を補填するもの。
10日	クunjitch保健大臣は、医師の超過勤務に対する未払い手当について、組合と解決に向けて協議する意向を表明。算定の誤りによる未払いの手当は15億クーナに達するとの試算。
11日	欧州LCC大手の航空会社ライアンエアーは、2020年の運航計画について、ザダル空港を拠点とする新規路線(4～10月間の季節便)を11本就航することを公表。乗客数は50%増え67.2万人となるとの見通し。
12日	欧州委員会は、ザグレブ-リエカ鉄道におけるレスコバツ-カルロバツ区間(44キロ)の改修事業に対して、EU基金(3.11億ユーロ)を拠出することを承認。2023年10月に完了予定。
	国営石油会社INAは、リエカ石油精製所における施設改修に40億クーナを投資することを決定。2020年に工事を開始し、プラント稼働は2023年を予定。
	プリモリエ-ゴラン県議会は、国営エネルギー輸送会社JANAFによる投資(オミサリ島で操業する石油パイプラインや貯蔵タンク的能力増強等)を推進するため、県の開発計画の修正を求める動議を承認。
13日	国内大手企業ジューロ・ジャコビッチ社のグループ企業であるジューロ・ジャコビッチ自動車は、任期6か月の新たな経営幹部を採用したことを発表。また、同日、同社従業員は、未払いとなっていた10月分の給与を受領。
16日	ザグレブ市北東部のグラデツ-スベティ・イバン・ザブノ区間(12.2キロ)の鉄道線が開通。国内で52年ぶりとなる鉄道路線の開設。
	コプリブニツァ-クリジェブチ県の上下水道改善事業(総事業費8.65億クーナ)について、チョリッチ環境保護・エネルギー大臣、国営水道会社クロアチア・ウォーター、地元水道管理会社が契約に署名。
	クロアチア道路公社は、リエカ港西部と同市環状道路を結ぶ国道D403号線の建設事業に関する入札を実施。当地GP Krk社、Kolektor CPG社(スロベニア)及びヘルツェゴビナ・ユーロアスファルト社(ボスニア・ヘルツェゴビナ)によるコンソーシアムが最も低い額(4.563億クーナ、VAT除く)を提示。今後120日以内に落札企業を決定する予定。
18日	政府は、国立病院の医薬品卸売業者に対する未払い債務について、9760万クーナを返済することを決定。同事業者に対する現時点の負債総額は25億クーナ。クunjitch保健大臣は、今回の措置も含め3億クーナを近日中に返済する旨言及。
	政府は、警察職員組合が給与増を求めている件につき、中等教育卒の職に就く警察官の月給を2021年1月までに段階的に6.11%増とすることを決定。
	ザグレブ市、ザグレブ・エレクトリック・トラム社及び銀行団は、スリエメ山ケーブルカー建設計画に対し、5.37億クーナを融資する協定に署名。ケーブルカーは来年5月末に操業開始予定。

20日	クロアチア鉄道(HZ)とコムサ社(スペイン)は、ビンコブツィーブコバル区間(18.7キロ)の鉄道路線改修事業に係る契約に署名。総事業費は3.76億クーナ、事業期間は2年。総事業費の85%をEU基金から拠出。
	国営石油会社INA社とKT-Kinetics Technology 社(伊)は、リエカ石油精製所における重質残油転換ユニットの建設事業について署名。事業規模は約40億クーナ。2023年に完成予定。
27日	政府は、レスコバツ-カルロバツ区間の鉄道路線の改修・複線化事業について、事業契約に調印。総事業費は34.5億クーナ、うち27億クーナはEU基金からの拠出。2023年末までに完成予定。
	政府は、地方分権の推進のため、地方政府に対し2020年予算から24.12億クーナを拠出することを決定。初等・中等教育、福祉、医療、消防等の分野で地方政府に権限を移譲する予定。
	政府は、クロアチア郵便銀行及びクロアチア復興開発銀行によるリエカ-ザグレブ高速道路公社に対する融資(7000万クーナ)について、政府保証を付与することを決定。
	欧州復興開発銀行は、ユニクレジット・リース・クロアチア社との協力で、エネルギー効率化に向けた投資を検討する地方の零細・中小企業に対する融資を促進するため、同社に対する7500万ユーロの信用枠を付与することを承認。